

会議の名称	令和5年度浅口市行財政改革推進懇談会		
開催日時	令和5年11月15日(水) 13時30分から15時00分		
開催場所	浅口市健康福祉センター3階 多目的ホール		
出席者 及び欠席者	<p>【委員出席者】 中村良平会長・伊澤誠副会長・杉野美代子・山内悦子・奥慎二・ 澁谷達磨・石井節子・原田英和</p> <p>【委員欠席者】 筒井由紀子・河田美優・大岸貴美子・金光道晴</p> <p>【事務局】 石田康雄企画財政部長・園部智秘書政策課長・秘書政策課3人 新田直哉生活環境部長・富田直弘健康福祉部長・ 倉田裕史産業建設部長・山本青司上下水道部長・ 難波勝敏教育次長</p>		
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴者数	0
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議事 (1) 第4次浅口市行政改革プランの実績(令和4年度分) について (2) その他 5 閉会		
問い合わせ先	企画財政部秘書政策課 〒719-0295 岡山県浅口市鴨方町六条院中3050 電話番号 0865-44-9013 e-mail:hisyoseisaku@city.asakuchi.okayama.jp		

発言者	内容
<p>事務局</p> <p>栗山市長</p>	<p>【開会】13：30</p> <p>浅口市長 栗山康彦が挨拶をさせていただきます。</p> <p>参集の礼。</p> <p>昨年度、第4次行財政改革大綱・プランの策定について、貴重なご意見をいただき、心から御礼申し上げます。</p> <p>私の公約1丁目1番地は、楽しい浅口市を創る、そして、持続可能な浅口市を創る。令和5年度は特に注意しながら頑張っているが、持続可能な浅口市を創ることは大変難しい。しっかりとした行財政改革も行っていかなければならない。行革は非常に重要な部分を占めるものだが、それぞれの自治体でその時代ならではの費用を多く要することもある。例えば、今は国が抱えているDXの推進。1つのシステムを入れるだけでも数千万というような費用がかかる。それに加え、システムを1つ導入すると、毎月維持費が必要となり、年間で数百万といった経費が必要となる。デジタル化は予算を伴います。</p> <p>また、今は、建物あるいは水道管、そういったものが設置されて半世紀が経過し、寿命がきている状況です。特に水道管等は厳しい状況にあります。それに加えて、やはり高齢化の進行も影響がある。扶助費も増大し、少子化が進んでいる状況で税収不足も心配な状況。負のことばかり申し上げてはいけませんが、しっかりと持続可能な浅口市を創るためには何をやらなければいけないか、そして今何に取り組まなければいけないか、これが我々に課せられた使命ではないかと思っている。</p> <p>そういった意味でも、皆様方のそれぞれのお立場でしっかりと忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。</p>
<p>事務局</p> <p>中村会長</p>	<p>(市長、他公務の為、退席)</p> <p>次に、中村会長からあいさつをお願いします。</p> <p>参集の礼。</p> <p>今、市長からも話があった。昨年、委員皆様のご尽力、ご協力で大綱・プランを作ることができ、それから1年が経過した。今日はその評価結果について、皆様のご意見を伺うこととなる。</p>

	<p>資料にもあるが、A評価が1個、B評価C評価が多数。自治体によっては、Aが6割から7割のところもあるが、ABの違いについては、順調に進んでいるのか、概ね順調に進んでいるとの違いがあるものと考えている。詳細は事務局からの説明をもとに、それぞれの分野から忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
事務局	<p>これからの進行は、中村会長に願います。</p>
中村会長	<p>今日の終了予定時間は15時としている。 したがって、ご意見、ご質問は30分前の14時30分を目安に集約させていただきたい。 本日の議事である第4次行政改革プランの昨年度実績について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) 第4次浅口市行政改革プランの実績(令和4年度分)について説明</p>
中村会長	<p>取り組みに至っていない項目は1個で、それ以外は何らかの取り組みがなされている。 全体的に評価が厳しめという気もするので、目標値に達していれば取り組みが少々できていない、または最低限でも、考え方を変えれば効率的にやっていると云えるので、CでなくBでも良いと考える。 委員がどのように受け取られているかを含め、ご質問、ご意見を伺いたい。</p>
澁谷委員	<p>No.3のホームページ等のバナー広告について、ホームページをやり替えるとご説明があった。 皆さんもご承知と思うが、寄島の小学校と中学校が2025年から義務教育学校に変わっていくという議論があり、着々と前に進んでいる。その議論に参加するなかでホームページを何回か見たが、寄島小学校のホームページへ移動しない。寄島小学校をクリックしても移行はするが、内容が出てこない。小学校のホームページで開いた場合には、最寄り駅が里庄駅で寄島まで徒歩で25分と、徒歩で何分とかいう説明があり、今の距離から考えて、常識的におかしいんじゃないかなとか思いながら、職員の方に直すように話をしました。精査できてないところがあったと思う。今は直っていると思うが、ホームページが安易というか、今の時代</p>

事務局	<p>にしては、学校のホームページだけを見ても、正直魅力がないと言うか、見にくいと言うか、そういう感じを非常に受けた。 直接的な項目はないが、関連としてお願いしたい。</p> <p>情報発信の要であるホームページについてご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>寄島小学校のホームページについては、学校管理になるため、その内容につきましては、担当課にご意見があったことをお伝えさせていただきたい。</p> <p>まず、市の公式ホームページですが、合併後に1度更新を行ったが、すでに更新から10数年経っている。その当時はSNS等も発達してなかったこともあり、古いホームページの体裁で非常に見づらいものであることは事務局も認識しており、今年度事業として、時代に即したホームページになるよう更新作業に取り組んでいる。市民皆様に閲覧しやすいホームページを構築し、見ていただけるような環境を整わせることで魅力あるホームページとなるよう努め、バナー広告もしっかり募集してまいりたい。</p>
中村会長	<p>非常に大事なこと。それによって閲覧回数が増えるものと思う。他に、ご質問、ご意見はあるか。</p>
奥委員	<p>No. 4、返礼品は観光、遊び、キャンプなども含めて返礼品にしてるという実例があり、浅口にもキャンプ場や天文台といった観光施設もある。</p> <p>今、私たちがやってるあさくちスポーツクラブでは、寄島町でシーカヤックを活用した教室や貸し出しを行っている。そういったものも検討されているのか、観光や遊びといったものも含め、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>ご提案ありがとうございます。ふるさと納税の返礼品としては、現在、約300の登録を行っている。内訳は食料品の登録が多いが、天文台を貸し切って使えるといった返礼品や、最近では、遠方に住まれている方に対し、空き家の掃除を代理で行うといったことも検討している。</p> <p>委員所属の遊ぶところにおいても、シーカヤックの体験が返礼品として登録している。色々ご提案いただいたので1つでも返礼品を増やし、ふるさと納税の額を増やせるよう研究を続けていきたい。</p>

<p>澁谷委員</p>	<p>No.13 について、もう少し詳細説明をお願いしたい。</p> <p>寄島総合支所の空きスペースについて。寄島支所は3階建てで、3階には図書室がある。私はあまり図書室に行くことはないが、利用されている方にとっては地元にあって便利で必要なものだと思う。</p> <p>ただ、ふれあい交流館という別の建物も近くにあり、その中に図書スペースがあってもよかったなど。今更言っても仕方ないが、寄島支所の2階に中国銀行が入っていたが、そこが1件という意味なのか。それとも、他に何かあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和4年度の1件には、中国銀行が入っている。</p>
<p>澁谷委員</p>	<p>今は支店もATMに移行している。合併により、寄島の役所機能は、本庁に移るため、最小限で済むと聞いていた。合理化のための合併という条件もあったかと思うが、立派な建物の2階3階がほとんど空きスペースになったままであるというのは非常に問題。エレベーターもあるが、金融機関のようなところしか入れない建物といったイメージになるのではないか。</p> <p>ただ、寄島の産業は水産、牡蠣ということに限定されつつあり、日生のような市場はあるが、広がりやの輪がまだできてない。事業者が建物を利用するにしても、建物がふさわしくないなどの問題も当然あると思うが、海がよく見える良い場所にあるこの庁舎にも2階、3階はまとまった面積があり、このまま募集をしても使用方法が限定され事務所くらいかと。もう少し間口を広げるような方法が何かあるのかどうか、それを含めた検討をぜひお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>寄島支所の空きスペースの活用について、庁舎の空きスペースを有効に活用するという事は大切であると考えている。中国銀行が撤退され、令和6年1月からシルバー人材センターが中国銀行の跡地に入ることが決定している。その他にも、空きスペースがあり、様々な企業に空きスペースの活用を打診しているところだが、入居には至らなかった。今後、空きスペースをどのように活用していくかということは、市の中でも検討してまいりたい。</p>
<p>中村会長</p>	<p>合併してしまうと、支所になったところは人が減る、そうなるると、小売店・飲食店を中心にどうしてもさびれてしまう。それを防ぐためには、積極的に空きスペースを活用する方策を考えな</p>

<p>山内委員</p>	<p>いといけない。この項目は最低限の取り組みになっているが、次回はある程度取り組みを充実させていただきたい。</p> <p>空きスペース、空き店舗、空き家もこれから余剰ストックがどんどん増えてくるので、それらを有効活用できるか、財政負担も含め、非常に重要な問題である。</p> <p>やはり行財政改革が1番重要な問題だと考える。ぜひ、積極的な取り組みをお願いしたい。</p> <p>No. 6 事業者の減少を抑える項目について。コロナによって、中小企業も本当に閉塞感に苛まれ、廃業に追い込まれるようなところもあったかと思う。笠岡放送を見ると、里庄町の産業祭が賑やかに行われたという放送があった。3町が合併し、色んな特産品がそれぞれ単発でイベントを開催するのも1つの方法だと思うが、企業の減少、起業される人とか、事業者の減少を抑えること人を集めてPRすることは、大きなプロジェクトでもあると思う。市にも情報が入っているかと思うが、産業祭のような事業をしてほしいという声をよく聞くが、これだけ減ると難しいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今ご質問いただいた産業祭の件ですが、里庄町は先日開催されてというのは報道等でも承知しています。浅口市では今年度から産業祭を開催させていただきました。ただ、今回ここでご質問が出るということは、すなわち、広報が不足していたというご指摘も合わせて受けたと感じております。来年度以降の開催に関しましては、皆様方にぜひ知っていただけるよう周知を行ってまいりたいと考えております。ありがとうございます。</p>
<p>山内委員</p>	<p>横連携と縦連携がうまくいってないように私は感じました。</p> <p>やはりPR不足と言いますか、もっと色んな広報とか笠岡放送とか、色んな機会を通して、広く皆様に周知していただきたいかった。私もすごく残念ですが、私の友人たちが産業祭は楽しかったという声を聞きますので。</p> <p>来年度は賑やかに、より充実させていただきたい。参加企業は麺の事業所だけか。金光の植木などは参加されたのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>様々な事業者が参加していた。</p>
<p>中村会長</p>	<p>先ほどのご意見はNo. 38 ホームページ及びSNSと連携した効果的な情報発信のところの評価に関わるので、そこへの評価項目</p>

<p>澁谷委員</p>	<p>の要素として入れていただければいいかと思う。</p> <p>No. 6 の評価がDになっている。令和4年度の目標が631事業者で実績が633事業者であれば、目標は達成されているが、どうか。</p>
<p>中村会長</p>	<p>これは、評価の考え方に依存しているものと考えている。個人的には同等または低下という評価基準が一緒になってるので、同等であれば、無条件です、C以上の評価となっていていいのではないかと思う。</p> <p>取り組みができていないものが実績を得ることはまずないと考えるが、最低限以上の取り組みをして成果が目標値を達成していれば、CやBでも良いという気がする。そういう点で、いい意味の違和感を持っていた。</p> <p>他にご質問とかご意見、全体を通してでも結構です。</p>
<p>奥委員</p>	<p>No. 17 について。橋が通れなくなり、1キロ、2キロ迂回しないといけないという報道もあったが、浅口市として管理している橋については、計画通り点検をし、支出も平準化していくということで、評価がDになっているが、このままで問題なくいけると考えて良いのか教えていただきたい。</p> <p>もう1つ、水道事業について。先ほど市長も言われたが、老朽化した管路、これについては、No. 19 でB評価となっている。令和4年度が1.2km更新という実績だが、水道は生活に欠かせないもの。この計画で、問題なくいけるのか教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、No. 17 橋梁道路付属物等の長寿命化についてですが、橋梁の点検や長寿命化というものにつきましては、法律で5年に1度点検をすることが定められた。それにより市としても対応していかなければならない。</p> <p>その背景には、施設の老朽化等で通行止めになるといった事例が全国各地で多発していたというところがある。</p> <p>浅口市においても施設の点検をしっかりと行ったうえで、事故を防止すること、また、人間の健康維持と同じく、定期的な健康診断や人間ドックを受けて、病気の早期発見、予防して治療する。まさしく構造物にも同じことが言えるところが、ここにはある。この目標値を今回設定しているが、この通りに進んでいくことができれば、ライフサイクルコストの点検、施設管理にかかる経費</p>

<p>事務局</p>	<p>というものは抑えられるのではないかと考えている。目標どおりに進めていけるよう、県や国に対して予算確保も含め、要請させていただいている状況です。</p> <p>続きまして、水道の老朽管路の計画的な更新、耐震化について。行動内容にも記載しているが、施設情報を調査し、その結果から、優先度を考慮した更新需要の鑑定を行う計画を立てている。アセットマネジメントについては、水道事業が持続可能なものを目指すため中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクルを効率的かつ効果的に管理することで、資産管理として整理した。</p> <p>単年度に、まとめて工事するということは現実でなく、更新を計画的に平準化することで、資金投資についても計画的となることで、結果、コストの削減につながることから中長期的な視点に立った更新を行いたいと考えている。現段階では、令和4年度の目標1kmに対し、1.2kmとなっている。</p> <p>これまでは、なかなか大きな工事ができておらず、水道工事を行う際に邪魔になる管路があれば優先的に見直しを行っていたが、今後はもう少し全体的なことを考えながら、更新を行いたいと考えている。</p>
<p>原田委員</p>	<p>No.14について。目標がゴミ袋代を改定して廃棄物の減量化を図るとあるが、ゴミ袋代は県下の市町村がどれくらいの価格か、高いのか安いのかかわからないが、ゴミ袋代を上げたから廃棄物が減るというのは違和感がある。不法投棄に繋がったり。これはリサイクルを促すという意味ならその辺の補足があればと思った。浅口市のゴミ袋の料金体系が把握できていないが、全体を上げるという意味か。それとも部分的に上げるものか。</p>
<p>事務局</p>	<p>当市の場合、燃えるごみの1番大きい45ℓの袋を10枚120円で販売している。他自治体のゴミ袋の価格について、同じ大きさのものを隣接の里庄町では225円、岡山市では10枚500円で販売している。</p> <p>ごみの減量化について県下の自治体と意見交換を行っているが、ゴミ袋の値段を上げることによって、ゴミ袋がないから出し渋る、減量に繋がるといった声を担当者間では確認していることから、今回の目標であるゴミ袋代の改定を1つの手段として、減量化に繋がるものとしている。</p>



	<p>もちろん、45ℓの料金だけを上げるのではなく、こういった改定が望ましいかということは今後の課題で、委員も言われたとおり、代金を高く設定した場合でも、ごみ袋の購入を控えようとするものの、家庭ゴミの量は極端に減らないと思われる。処分する場合に心配されるのは、先ほど言われたような不法投棄や庭で燃やすことが懸念される。</p> <p>ゴミ袋の代金を上げることが果たして望ましいのかということもあるが、目標はゴミの減量化、いかに減らすかということで、1つの手段として、今回、ごみ袋の改定をあげている。</p> <p>他の方法として、ゴミ袋の中身を調査してみると、大体、生ゴミの量が約40%の割合といわれている。その生ゴミの量の内、約80%が水分とも言われている。家庭から生ごみを出す際に、この水分をできるだけ絞ったり乾燥させることで、ごみの量も減るものと思っており、市内の小学校に協力いただき、夏休みの課題として家庭でゴミの水切りに取り組んでもらっている。</p> <p>また、広報紙に1月分のゴミ処理量や前年との比較について数字での周知も行っている。効果検証はできてないないが、そういった取り組みも行っていきたい。</p>
中村会長	<p>予定した時間が近づいているが、その他よろしいか。</p>
山内委員	<p>No. 29 使用料の見直しについて、目標値が令和6年、7年が斜線。</p> <p>浅口市は市民に優しいと感じている。しっかりと市場調査も行っていると思うが、先ほどのゴミ袋だけでなく、もう少し一般市民の公平性を欠かないような、遠慮のない使用料の値上げをしっかりと考えた方が良い。値上げと言ったら良くないように思われるかもしれないが、例えばトレーニングルームを使う人は市民の一部で、使わない人は全く使わない。公平性を欠くようなことがあれば使用料の値上げを考えてもいいのではないか。これは懸案事項でいいので、ぜひ頑張ってくださいと切に願う。</p>
事務局	<p>本日欠席されている筒井委員からご意見をいただいております、ご紹介と回答させていただきます。</p>
事務局	<p>No. 9 補助金の見直しの項目について。</p> <p>令和5年度は調査や課内検討を行うとなっている。こういった調査を行い、当該団体とやりとりをしていくのか。今年度の進捗状況の確認と令和6年度の庁内検討で有効に示され、実績や有益</p>

	<p>感に見合う方針となって欲しいとのご意見をいただいた。</p>
事務局	<p>補助制度については様々な事業を実施しているが、期間を区切るなど、制度ごとに取り組み内容も異なっている。改めて整理し、全体として一定の基準を考えていくことが目的で、どういった方法が適切かについても検討している。</p> <p>令和6年度にすぐ成果が出せるかという点と申し上げにくい。手数料の見直しの話もいただいているが、当然、補助金の見直しも、目的をもった支出が必要になってくる。そういった視点を忘れないように、調査に取り組んで参りたい。</p>
事務局	<p>お渡しした補助金の一覧についてのご意見もいただいた。</p> <p>補助金の名称や目的はあるが、どのようなことに活用できるのかわからないというもので、リストをもう少し詳しく記載できないかとの内容。様式を見直す必要もあり、持ち帰り検討したい。</p>
事務局	<p>昨年度は、行政改革大綱とプランの策定について、この懇談会に市長が諮問し、委員皆様の意見をまとめ、大綱とプランの案文と合わせて書面で答申している。</p> <p>今年度については、この懇談会でいただいた意見を答申という形ではなく会議録の形でまとめさせていただければと考えているがよいか。</p>
中村会長	<p>委員で事前に確認されたい場合には事務局にリクエストしてほしい。よろしいか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
事務局	<p>本日、評価基準の根拠が厳しいとのご意見もいただいた。</p> <p>来年度の評価をするにあたり、評価基準についても再考したいと考えるが、委員皆様の了承がいただければ、会長、副会長と相談したい。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
事務局	<p>前回のプランでは本庁・総合支所の見直しについて目標設定をしていた。現在のプランには広く公共施設の有効活用として取り組みを進めている。</p>

	<p>現在、報道もされているが、金光と寄島の各支所には産業建設課があり、産業建設部と上下水道部の業務を行う部局がある。</p> <p>浅口市はエリアが比較的小さく、一体的な行動・対応ができるため、支所の産業建設課職員を本庁の産業建設部と上下水道部に一元的に集約するといった組織再編を行うこととしている。産業建設部は本庁に隣接する分庁舎へ配置し、上下水道部は、分庁舎から金光総合支所の2階へ移動する。このような形としても公共施設を有効に活用していきたい。</p> <p>これに伴い、金光の庁舎からは産業建設部の業務がなくなり、寄島の庁舎からは産業建設部と上下水道部の業務がなくなることに関係する職員がいなくなる。プランには入っていないが、デジタル技術を活用し、離れた場所でも市民と職員が顔を見ながら対応できるよう遠隔相談システムの準備を進めている。市民皆様にサービス低下が起こらないよう務めていきたい。今後も報道等でも公表があると思うので注視していただきたい。</p>
中村会長	<p>以上で、今日の議事は終了する。事務局へ進行をお願いする。</p>
事務局	<p>閉会にあたり、伊澤副会長よりご挨拶いただく。</p>
伊澤副会長	<p>皆様におかれましては、慎重な協議をありがとうございました。</p> <p>浅口市も人口減少、少子高齢化の波がきており、多くの自治体でも同じ問題を抱えていると思います。こういった、市民皆様のニーズに的確に対応し、より一層の行財政改革の推進に取り組む必要があるかと思えます。</p> <p>皆様には、それぞれの立場から、非常に有益なご意見をたくさんいただきました。市におかれましては、今日の意見を基に取り組みをさらに推進し、改革、改善を行っていただきたいと思えます。</p> <p>本日お集まりの皆様におかれましては、今後も、それぞれの立場におきまして、浅口市の益々の発展のためにご協力をお願いいたしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p>【閉会】</p>